

ANIORU's CUP 2014

全日本学生外洋帆走選手権

レース公示

共同主催	日本学生外洋帆走連盟、JSAF 加盟団体外洋内海
公認	公益財団法人日本セーリング連盟（承認番号 H25-48）
後援	新西宮ヨットハーバー株式会社、一般社団法人関西ヨットクラブ
開催地	神戸大学海事科学部及び兵庫県芦屋、西宮沖

1.適用規則

- 1-1 本レガッタは「Racing Rules of Sailing 2013-2016(以下 RRS)」に定義された「規則」を適用する。
- 1-2 付則L（帆走指示書ガイド）の付属文書B（主催団体より用意された艇）を適用し、クラス規則は適用しない。

2.参加資格

- 2-1 チームは日本学生外洋帆走連盟(Japan Intercollegiate Offshore Sailing Federation、以下 JIOSF)に加盟する団体に所属していること。
- 2-2 競技者は JSAF の会員であること。
- 2-3 競技者は日本学生外洋帆走連盟の連盟員であり、2014年1月1日時点で同一大学に所属し、大学入学後3年以内であること。編入生については、編入1年以内であること。ただし、オープン参加の場合、前述の資格を満たしていないOBクルーの参加を2名まで認める。
- 2-4 スキッパーは小型船舶操縦士免許2級以上を保持していること。
- 2-5 チームは各大学1チーム、最大8名で登録することが出来るが、レース時に乗艇するクルー人数はスキッパーを含め3名以上5名以下とする。
- 2-6 クルーは競技者登録書内で変更できる。ただし、出艇前にレース委員会に通告しなければならない。また、本レガッタを通じて乗艇人数を変更してはならない。
- 2-7 レガッタ中、スキッパーおよびヘルムスパーソンは交代してはならない。スキッパーの届け出は参加申し込み時、ヘルムスパーソンの届け出は公式受付時にそれぞれ行うこと。
- 2-8 オープン参加
 - 2-8-1 区分
オープン参加を希望するチームは、2名以下のOBクルーを、チームの競技者として登録することが出来る。
 - 2-8-2 代表選考の制限
オープン参加のチームは、日本学生外洋帆走連盟の代表選考を希望することができない。

2-8-3 順位

オープン参加のチームに対して大会順位は付けない。ただし、チームが複数存在する場合、オープン参加順位を付ける。

3.参加申し込み

3-1 申し込み手続き

2014年1月27日(月)15:00までに下記の手続きを完了すること。

- ① 競技者登録書
- ② 参加申込書、誓約書
- ③ ワーカー登録書
- ④ チーム紹介登録書
- ⑤ 代表選考希望調査書
- ⑥ 参加費用振り込み

上記①～⑤は ANIORU's CUP 2014 公式ホームページにてダウンロード出来る。

<http://anioruscup2014.jimdo.com/>

3-2 提出先と方法

3-2-1 ①～⑤は下記メールアドレスへ添付送付すること。(この時点では捺印不要)

3-2-2 ②には学生証及び JSAF 登録証のコピーを付与すること。

JSAF 登録証が無ければ、振込領収書のコピーで可とする。

また、3-1①、②、⑤は捺印の上大会受付時に提出すること。

書類送付先メールアドレス : jiosf@hotmail.co.jp

3-3 参加費用

参加費用は「団体参加費用」、「競技者登録料」からなる。

a. 団体参加費用 : 90,000 円/艇

b. 競技者登録料 : 9,000 円/人

なお、競技者登録料には、以下の全てを含む。

大会期間中の傷害保険料、パーティー参加費、宿泊費

なお、宿泊場所を参加者自ら確保する場合、宿泊費は後日返金する。詳細は 3-1 項の登録用紙参照のこと。

c. 参加料振り込み先銀行口座

ゆうちょ銀行

支店名 : ゼロイチハチ(〇一八)

口座番号 : 普通 6591065

名義 : アニオールズカップ実行委員会

振り込み手数料は参加者にて負担すること。

4.大会日程

3月13日	(木)	09:00 ～16:00	大会受付 公式練習
3月14日	(金)	08:00 ～15:00 15:00 16:00 16:30 19:00	大会受付 公式練習 艇体チェック 開会式 艇長会議、RRS 講習 パーティー (海事科学部総合学術交流棟)
3月15日	(土)	08:00 09:55 着艇後	艇長会議 (大会本部) 第1レース予告信号 (1日目) 艇長会議・翌日の出艇申告
3月16日	(日)	08:00 09:55 着艇後	艇長会議 (大会本部) 最初のレースの予告信号 (2日目) 艇長会議・翌日の出艇申告
3月17日	(月)	08:00 09:55 着艇後	艇長会議 (大会本部) 最初のレースの予告信号 (3日目) 艇長会議・翌日の出艇申告
3月18日	(火)	08:00 09:55 着艇後	艇長会議 (大会本部) 最初のレースの予告信号 (4日目) 艇長会議・翌日の出艇申告
3月19日	(水)	08:00 09:55 18:00	艇長会議 (大会本部) 最初のレースの予告信号 (5日目) 表彰式 (海事科学部総合学術交流棟)
3月20日	(木)		予備日

4-1 本レガッタは最大15レースを予定している。

4-2 シリーズが成立するためには、1レースを完了することを必要とする。

5.帆走指示書

帆走指示書は2014年2月22日(土)以降に3-1項で表記されているホームページに掲載する。

6.開催地およびコース

- 6-1 大会本部は神戸大学海事科学部ポンド内に設置する。
- 6-2 レース海域は大阪湾北部、阪神港内海域とする。
阪神港尼崎西宮芦屋第2区
下記の(イ)～(ニ)の4地点を順に結んだ線により囲まれる海域
- | | | | |
|-----|------------|------|----------|
| (イ) | 西宮内防波堤灯台から | 184度 | 500mの地点 |
| (ロ) | (イ)から | 171度 | 2000mの地点 |
| (ハ) | (ロ)から | 271度 | 3000mの地点 |
| (ニ) | (ハ)から | 356度 | 2100mの地点 |
- (付属文書A参照)
- 6-3 コースは風上/風下コースとする。
なお、大三角コースレースを行う場合がある。

7.艇体

- 7-1 付則L(帆走指示書ガイド)の付属文書B(主催団体より用意された艇)に次項を追補する。
- 7-2 レース実行委員会は、参加大学に神戸大学及び甲南大学所有のJ24を貸与する。艇に損傷が起きた場合、実行委員会が損害を受けた艀装品を修理または交換、業者への修理依頼を行う。損傷の修復にかかる費用が保険適用外の場合においては実費を徴収する。
- 7-3 レース実行委員会の許可を得ずに、次項を除き、艀装品の艇への持ち込み、および艇からの取り外しを禁止する。
- 7-4 持ち込み可能な艀装品を以下に記載する。なお、下記以外を持ちこみたい場合は、備品持ち込み申請書に記入し、大会期間前は13項の問い合わせ先まで、大会期間中はレース委員長まで提出すること。
セール、コンパス、ウインチハンドル、工具、リペア用具、救急用品、海図、ボースンチェア
懐中電灯
- 7-5 使用艇は抽選により各チームに割り当てるものとする。
- 7-6 期間中バウハッチホイストは禁止する。

8.停泊および上架の制限

レース艇は大会期間中、海事科学部ポンド内の指定された場所に係留すること。レース委員会が認めた緊急の場合を除き上架してはならない。

9.無線通信

各艇はレース委員会が用意した無線機を搭載し、出港から帰港までの間、常に聴取しておくこと。さらに携帯電話を所持し、出艇申告時に常時連絡可能な番号を届けること。無線機は本部艇、マークボート、競技艇がそれぞれ1機所持することとする。ただし、携帯電話については緊急の場合を除き通信を行ってはならない。

10.賞

総合成績 1 位～3 位の大学には賞を授与する。

また、複数のオープン参加校が存在する場合、最も上位のチームに賞を授与する。

11.代表認定基準

11-1 Student Yachting World Cup 2014 の日本代表は代表選考を希望する大学のうち、最も上位の大学団体とする。

11-2 JSAF キールポート委員会が窓口を務める国外レースに関して、日本学生外洋帆走連盟の推薦を行う。

12.責任の否認

このレガッタの競技者は自分自身の責任で参加する。RRS 規則 4「レースをすることの決定」参照。主催団体、ならびに公認、後援、協力団体は、レガッタ前後、期間中に生じた物理的損害または身体的障害もしくは死亡に対していかなる責任も負わない。

13.問い合わせ先

ANIORU's CUP 2014 実行委員長 安田修一郎 080-5363-4585

jiosf@hotmail.co.jp

付属文書 A

